

第 5 回 伊豆山復興まちづくり推進懇話会

【第 4 回懇話会での意見とその対応について】

令和 7 年 9 月 30 日

**2 「公園予定地について、もっと
利用価値を高められるような
アイデアを住民に求めてほしい」**

公園緑地 今までの取り組み

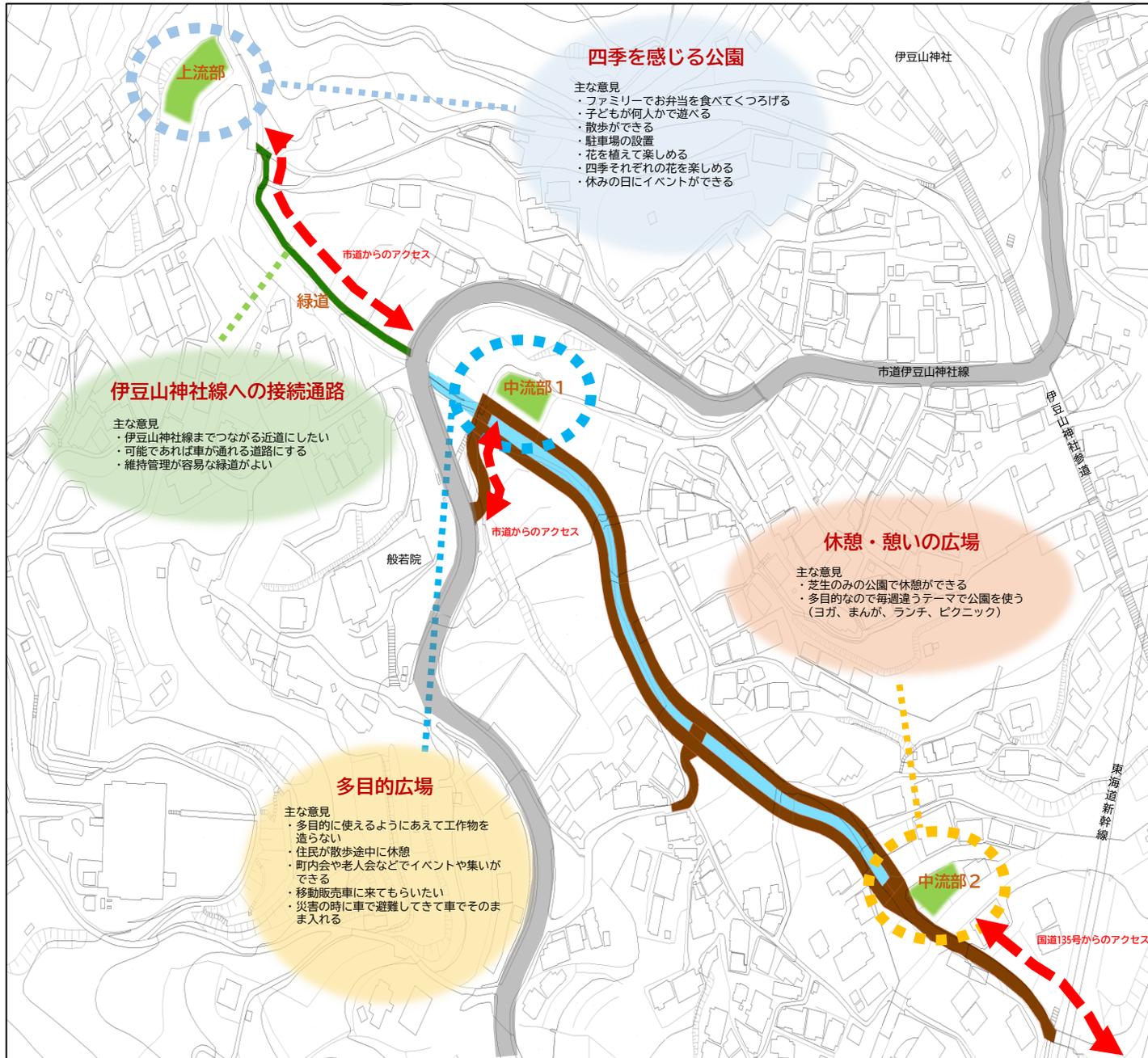
公園緑地 今までの取り組み

- 伊豆山復興まちづくりワークショップ
 - 第1回 令和4年5月29日 第2回 令和4年6月26日
 - 第3回 令和4年7月31日 第4回 令和4年8月28日
 - 第5回 令和4年9月25日
- ・計5回の復興まちづくりワークショップの中で、公園緑地に限らず、伊豆山復興のためのまちづくりについて意見聴取を行いました。

- 伊豆山復興まちづくりワークショップ -公園緑地編-
 - 第1回 令和5年6月25日 第2回 令和5年7月23日
 - 第3回 令和5年8月26日
- ・計3回の復興まちづくりワークショップ-公園緑地編-の中で、公園緑地に限定して意見聴取を行いました。

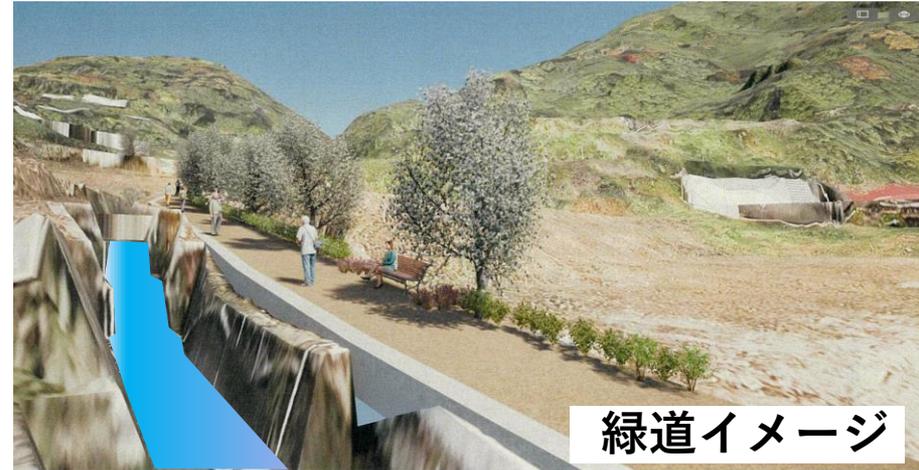
- 令和5年度地区別・町内会別説明会
 - A地区 令和5年12月14日 B地区 令和5年12月5日
 - C地区 令和5年11月28日 D地区 令和5年11月17日
 - E地区 令和5年11月7日 F地区 令和5年10月31日
 - G地区 令和5年10月17日
- 浜町内会 令和6年1月10日
- 岸谷町内会 令和6年1月16日
- 仲道地区 令和6年1月23日
- ・計10回の説明会中で、座談会を通じ、公園緑地などについて意見交換を行いました。

- 令和6年度地区別・町内会別説明会
 - A地区 令和6年10月22日 B地区 令和6年10月8日
 - C地区 令和6年10月1日 D地区 令和6年8月27日
 - E地区 令和6年8月20日 FG地区 令和6年9月10日
 - G地区 令和5年10月17日
- 浜町内会 令和6年11月8日
- 岸谷町内会 令和6年11月12日
- 仲道地区 令和6年11月15日
- ・計9回の説明会中で、座談会を通じて、公園緑地などについて意見交換を行いました。



工程(案)	令和6年度	令和7年度	令和8年度
イメージ案作成	→		
用地買収	→	→	
意見聴取	→	→	
設計	基本	詳細	
工事			→

公園及び緑道イメージ図



※写真は現時点でのイメージです。今後変更となります。

A・B地区

- ・車を止めるスペースや日陰になる場所が欲しい。トイレもあれば便利だが、管理することを考えると建設予定の第4分団詰所のトイレ等を使えないか。

C・D・E地区

- ・公園を設置することで、一時避難場所や非常用トイレとして使用できる。
- ・トイレはメンテナンスの問題があるが、地元にとイレメンテナンスの雇用を創出したらどうか。

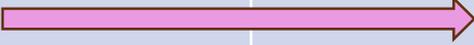
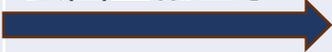
浜町内会／F・G地区

- ・浜地区にも公園が欲しい。
- ・伊豆山地区には公衆トイレが少なく、観光客が困っている場面をよく見る為、公園へのトイレ設置を検討してほしい。

岸谷・仲道町内会

- ・東屋など日陰の休憩スペースが欲しい。
- ・伊豆山地区はお年寄りが多いので、高齢者向けの健康器具等もあると便利。

公園緑地整備スケジュール

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
公園緑地 ワークショップ	WS開催 6月・7月・8月 			
イメージ案作成				
用地買収			測量・交渉 	
意見聴取		地区別・町内会別説明会等での意見聴取 		
設計		概略設計 	詳細設計 	
工事				公園整備工事 

3 「道路と宅地の高低差の改良」

道路と宅地の高低差（これまでの取り組み）



←現場説明会 パノラマ
写真（丁張りの様子）
※岸谷2号線から岸谷本線
方面を撮影

第3回懇話会
資料抜粋

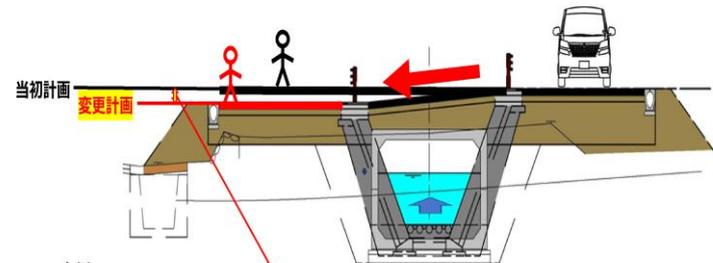
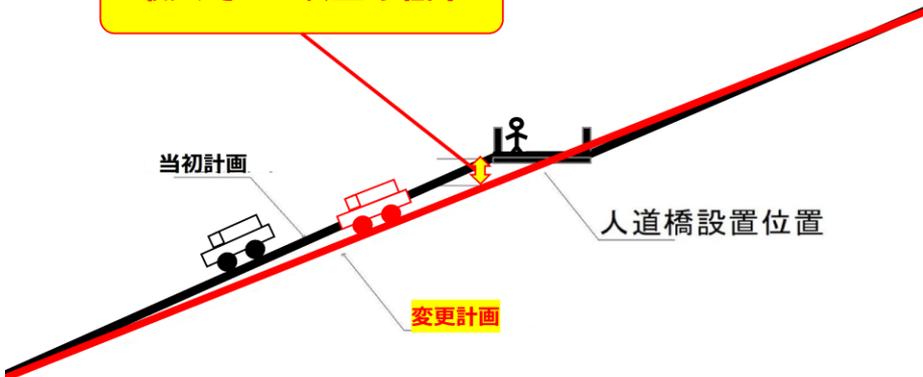
縦断面図・横断面図



縦断面図
(道路を縦に切って見た図)

横断面図
(道路を横に切って見た図)

最大で1m以上の低下



約30cmの低下

※勾配の差をわかりやすくするため、縦横比を変えています。

西側
(熱海駅側) 8

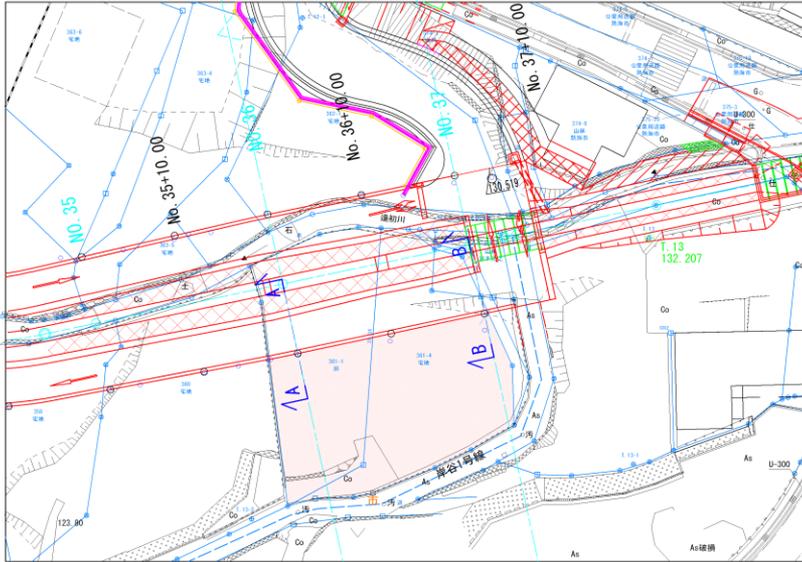
道路と宅地の高低差イメージ



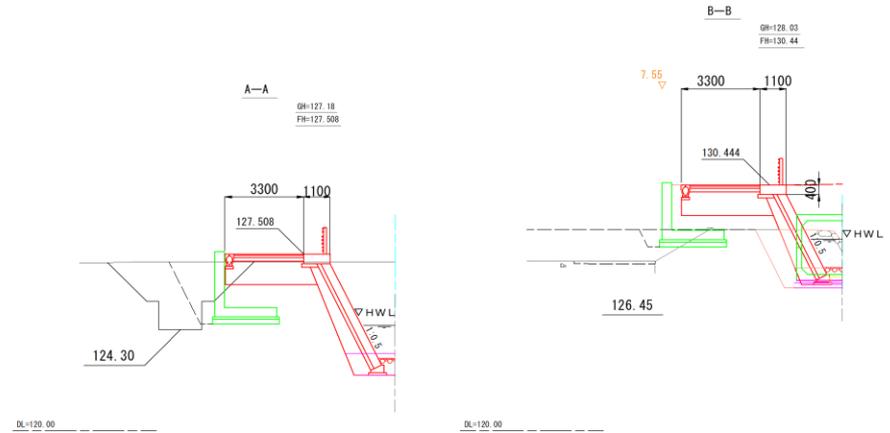
道路と宅地の高低差 個別図面

左岸側 擁壁工一般図 (左岸側 NO. 35+16.80~No. 37)

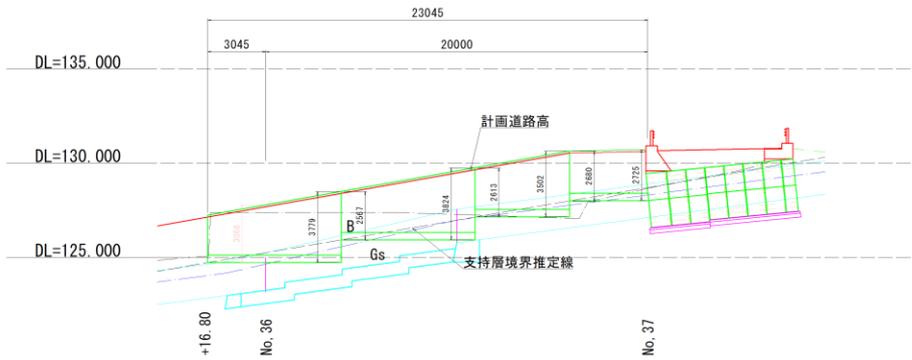
平面図 S=1:500 (A3)



断面図 S=1:100



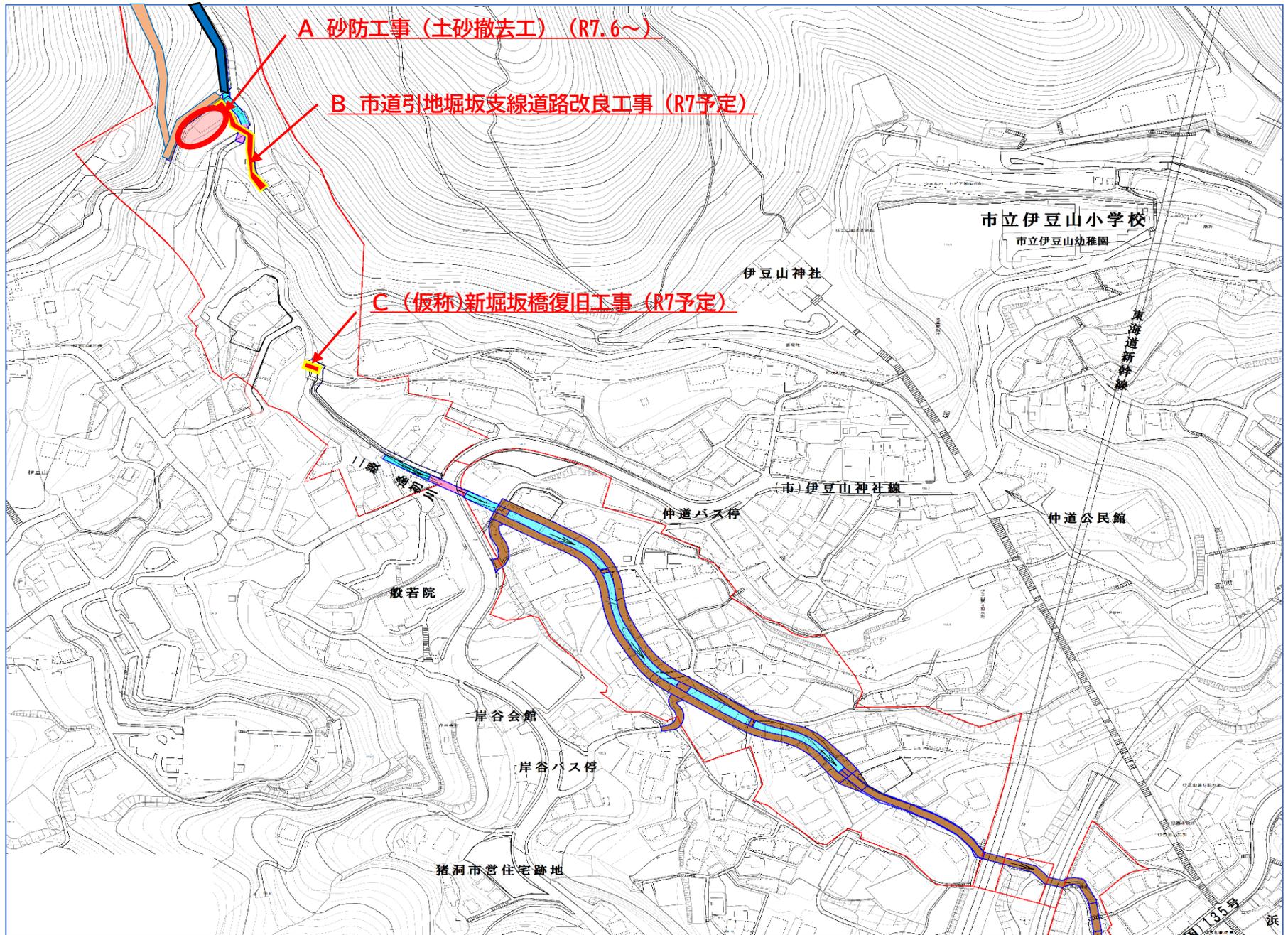
擁壁工展開図 S=1:250 (A3)



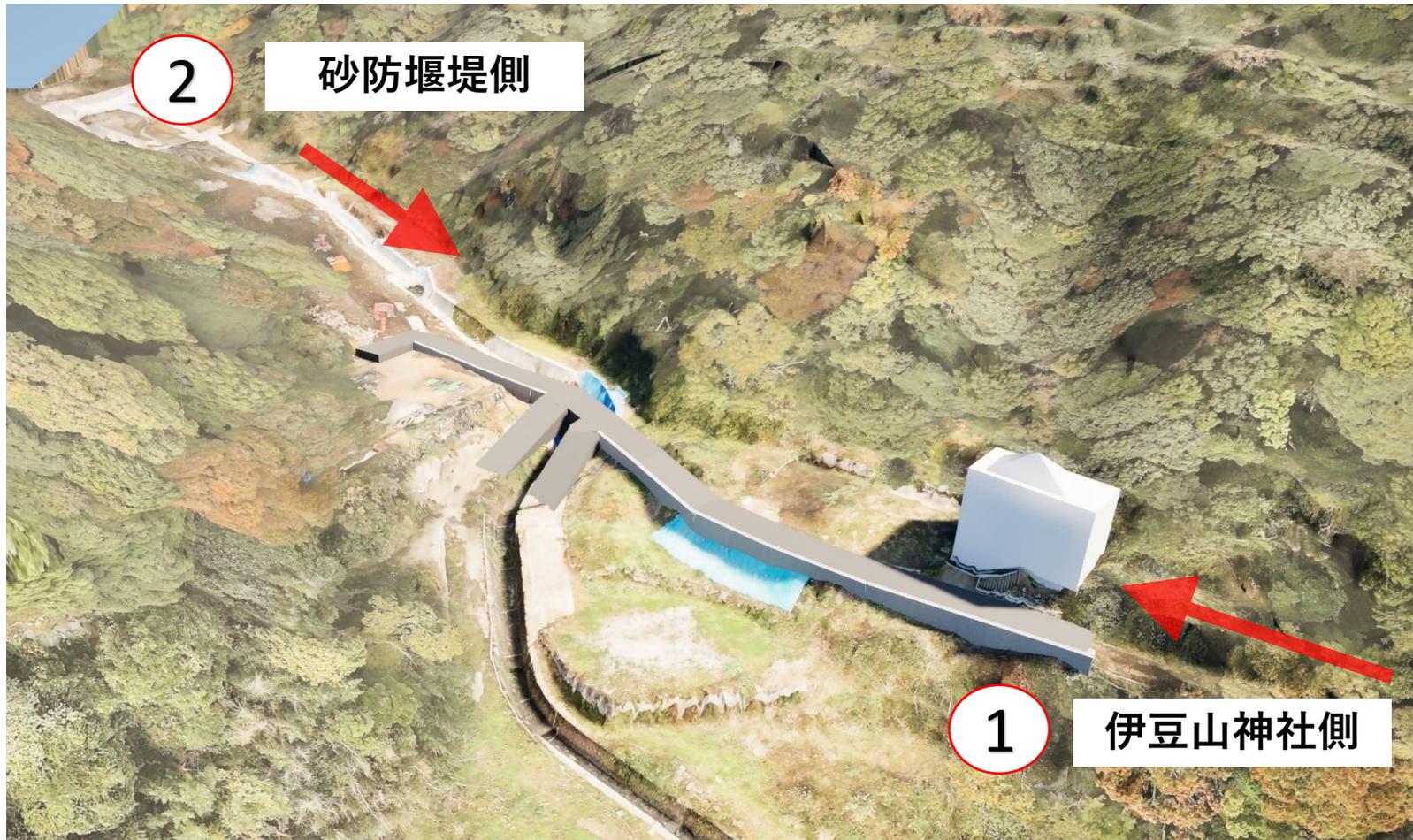
※現場打ち型枠壁を使用した場合の図
※擁壁の床付け位置、底版段差の付け方は詳細設計時に検討

11 「伊豆山神社線より上流部の 事業進捗状況について」

市道伊豆山神社線上流部の事業進捗について



「市道引地堀坂支線改良工事について」



引地堀坂支線（道路拡幅工事イメージ）

1

伊豆山神社側から



2

砂防堰堤側から

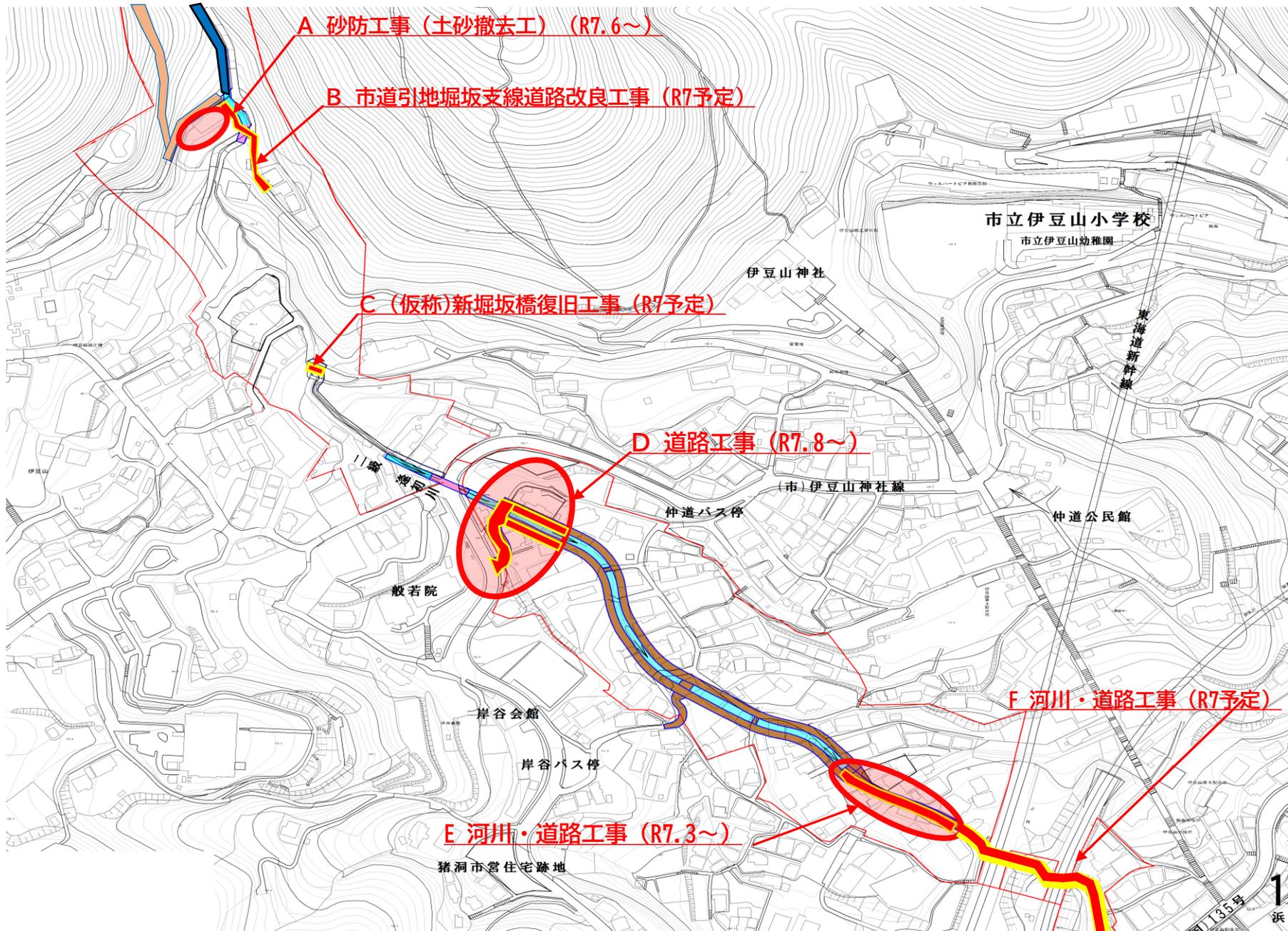


引地堀坂線（橋梁設置工事イメージ）



14 「帰還したくなる雰囲気づくり」

河川・道路事業【令和7年度工事箇所】



発災後～2025年開催イベント① ※一部抜粋

- 伊豆山土石流災害から4年となりますが、伊豆山地区では、例大祭等の歴史あるお祭りや、カラオケグランプリ等の新たなイベントが開催されています。
- 令和6年9月には「第73回源実朝を偲ぶ 仲秋の名月 伊豆山歌会」が再開されました。

伊豆山神社例大祭 (R7/4)



3町内会のみこしが6年ぶりに岸谷地区の一部道路を巡行し、例大祭をお祝い。

納涼祭※@岸谷町内会 (R7/8)



町内会内の組織「親和会」が中心となって、被災後6年ぶりに行われた納涼祭を今年も開催。多数の方々が来場し、食事や会話を楽しんだ。

熱海カラオケグランプリ 2025/6月開催



※写真は昨年の様子

熱海・伊豆山を元気にしようと、
伊豆山在住ボイストレーナーに
よるカラオケ大会

熱海伊豆山あいぞめ フェスティバル 2024/8月開催

「音楽・健康・食」の力で元気に」
をコンセプトに、復興を
後押しするイベント



**16 「情報共有の場
（意見交換会等） 拡充」**

**18 「人と人を繋いだり、必要な情報を
共有したりする役割」**

**19 「住民と行政のパイプ役になるような
チームを公募で編成」**

令和7年度 伊豆山復興に関する説明会・意見交換会

- これまでの説明会等の開催状況及び各説明会でのご意見を踏まえ、令和7年度より、地区別説明会の単位を集約し、新たに**意見交換会**を開催、また、**伊豆山復興相談窓口**を開設しています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
懇話会		5/15 ●復興計画の変更案 公表				9/30 ●第5回伊豆山復興まちづくり推進懇話会 (前年度の事業進捗等報告)					月上旬 ●第6回伊豆山復興 まちづくり推進懇話会 (復興計画改善案等報告)	
説明会		※市長が出席する意見交換を含む説明会です。										
意見交換会		●6/19、6/20、 6/26、6/27開催 ※[R7～新規事業]課長以下の職員による、担当者レベルの意見交換を主とした説明会です。										
相談窓口	4/24	5/22	6/26	7/24	8/28	9/25	10/23	11/27	12/25	1/22	2/26	3/26
	※[R7～新規事業]いずさんっちで「地域サロン」が開設される日に開設します											

※この他に、必要に応じて工事説明会を開催します。

令和7年度 逢初川流域復旧・復興事業にかかる地区別意見交換会【開催概要】

- 逢初川土石流災害における復興事業に関して、皆様の意見を伺いながら事業を進めていくために、「逢初川流域復旧・復興事業にかかる地区別意見交換会」を開催しました。
- 熱海市と静岡県熱海土木事務所と共同開催しているもので、各事業の状況やスケジュールを説明し、その後、車座座談会として意見交換を行いました。
- 6/19～6/27の間に開催し、計42名が参加されました。

【概要】

- 開催日 6/19～6/27 計6回
- 出席者 計42名 (34世帯)
- 説明内容
 - ・河川・道路事業について
 - ・公園緑地事業について
 - ・残地盛り土の安定性について
 - ・車座座談会 (意見交換会)

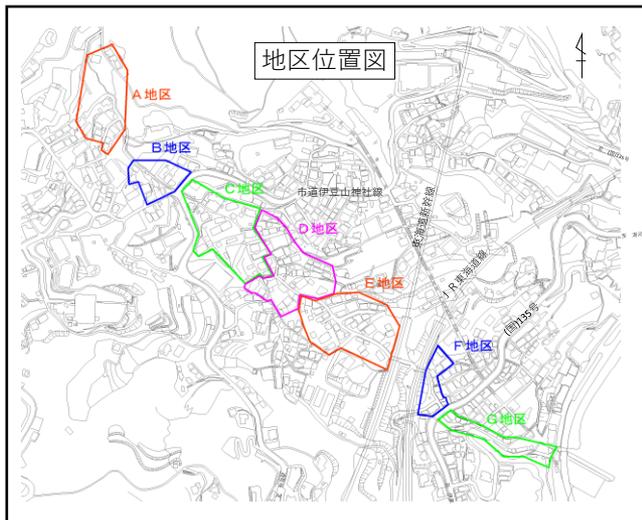
●出席者内訳

A・B地区：6月19日(木) 昼・夜
出席者8名 (7世帯)

岸谷・仲道町内会：6月20日(金) 夜
出席者15名 (12世帯)

C・D・E地区：6月26日(木) 昼・夜
出席者13名 (9世帯)

浜町内会・FG地区：6月27日(金) 夜
出席者6名 (6世帯)



【開催状況】



【アンケート結果】 ※意見交換会終了後に出席者に任意で回答していただいたものです。

- 評価
 - ・回答者40名
(満足8名、まあ満足27名、やや不満足2名、不満足1名、未記入2名)
- 主な意見
 - ・復興事業の進捗状況について、説明が分かりやすく理解できた。
 - ・早く道路を完成させて欲しい。
 - ・不安に思っていたことを聞くことができて良かった。
 - ・近所の方の意見を聞くことができて良かった。
 - ・河川や道路が完成した後、住民が住める地域づくりを考えて欲しい。

令和7年度 伊豆山復興相談窓口

- 令和7年4月から、「いずさんっち」(旧農協)の2階を利用して、「伊豆山復興相談窓口」を月に1度(毎月第4木曜日)開設しています。
- 復興に関してもっと気軽に相談などができる環境づくりを目的として開設しています。

【概要】

- 日 時：毎月第4木曜日
※「地域サロン」が開催される日
- 場 所：「いずさんっち」2階
- 対応職員：復興調整室と被災者支援室の職員各室1~2名)
- 対象者：伊豆山土石流被災者と地域住民
- 相談内容：伊豆山の復興に関すること
 - ・復興の進捗状況
 - ・復興事業の内容
 - ・生活再建支援 等
- 周知方法
伊豆山復興まちづくり通信、伊豆山情報
掲示板、チラシ、各種説明会 等



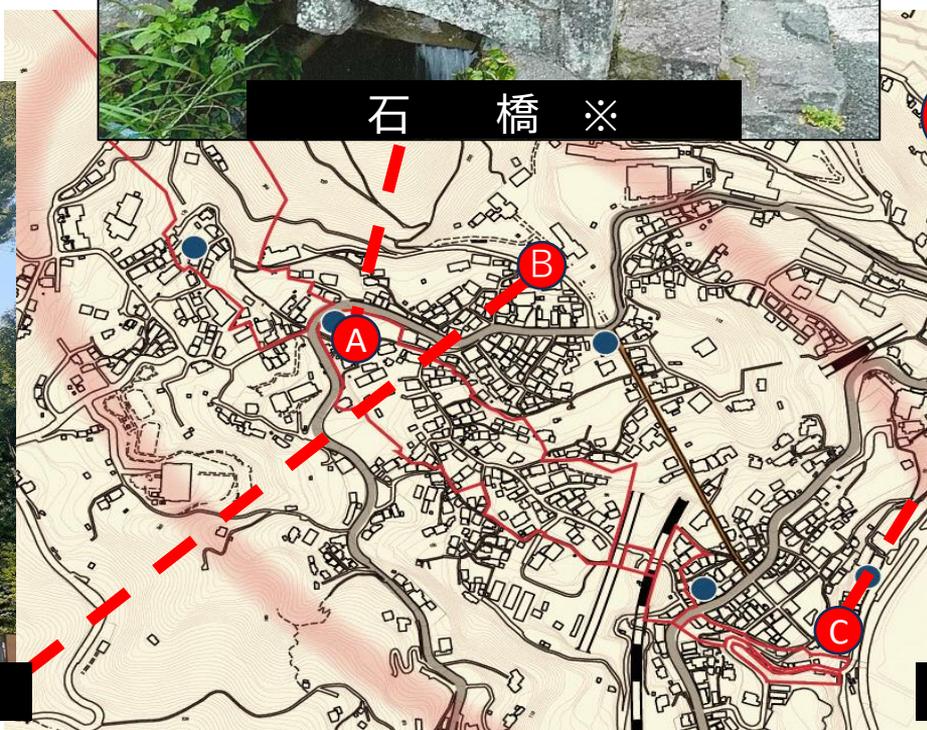
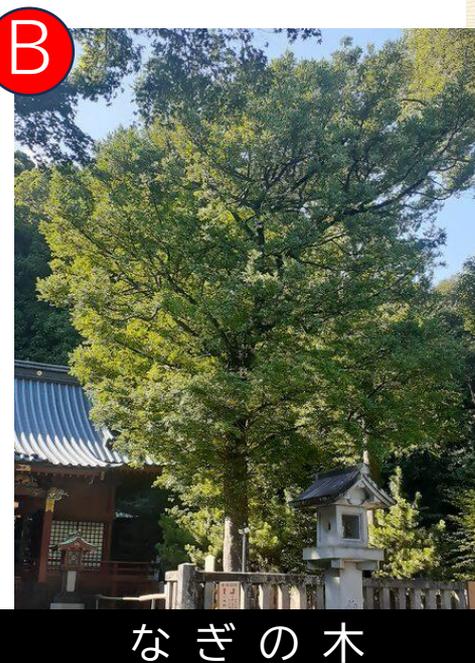
住民・行政一体のまちづくりの連携・支援【好事例】

	宮城県女川町	岩手県大船渡市
概要	「民間主導の公民連携」によるまちづくり	地域の復興の核となる中心商店街の復活へ
課題・取組	<p><東日本大震災前> 多くの事業を行政主導の民間参加型で推進。事業者団体の横のつながりは希薄。</p>  <p>< // 震災後 > 町の商工会長が、観光協会や商工会等が中心となった組織を震災から1か月余りで発足。その後、地元産業・住民参加型の取り組みが推進。</p>	<p><東日本大震災前> 約80軒の店舗が並ぶ四つの商店街等があった。</p>  <p>< // 震災後 > 町店主らが再建に向けて土地探しや行政との調整。震災から1年弱で、仮設の商店街をオープン。</p>
結果	<p>被災地最大級の仮設商店街が2012年オープン。被災事業者限定という制約に囚われず、震災後の起業者も出店する創業支援機能も保持。</p> <p>→2015年、テナント型商業施設が完成。Uターン者や移住者が起業し、個性的な店舗を構えている。</p>	<p>2011年11月に建物工事が完成し、鮮魚店や青果店など市民生活を支える約30店舗が入居。</p> <p>→2017年、かさ上げした市中心部に商店街が誕生。現在、春から秋にはフリーマーケット等開催し、若者や他地域から呼び込む工夫をしている。</p>

**24 「ただ直しただけの街にならないように
伊豆山復興まちづくりの目に見える
シンボル等について議論するべき」**

復興まちづくりにおけるシンボルについて

- 伊豆山は、神仏習合の文化・信仰の霊場として栄えた地です。
- 源頼朝と北条政子が出逢った場所とされる「石橋」といった今回の災害で流出してしまったものも含め、昔からの原風景のひとつである「なぎの木」等、伊豆山地区の昔ながらのシンボルの保存・再建も例として挙げられます。



※「逢初橋」について、その位置には諸説あるため「石橋」と表現しております。